

**2021年度第2四半期
決算説明資料**

神 鋼 商 事 株式
会 社

証券コード：8075

本資料のサマリー

1. 業績概要

- ・ 2021年度第2四半期の経常利益は46億円（前年同期比+29億円）
→自動車向けの需要回復により鉄鋼・非鉄金属セグメントが牽引
- ・ 2021年度通期の経常利益は82億円を予想（前期比+41億円）
→前回（7月発表：73億円）から9億円の上方修正

2. 中期経営計画の進捗（投資計画と実績）

- ・ 2021年度第2四半期の主な投資案件は以下の通り
 - ① (鉄鋼) 北米での自動車向け線材加工能力増強
 - ② (非鉄) 中国での新エネルギー車(NEV)向けアルミ加工能力増強
 - ③ (非鉄) 中国での半導体・FPD用イオン注入装置製造会社子会社化

3. サステナビリティへの取り組み

- ・ 資源の再活用、資源循環型ビジネスの取り組み

1. 業績概要
2. 中期経営計画の進捗（投資計画と実績）
3. サステナビリティへの取り組み
4. 参考資料

1. 業績概要

2. 中期経営計画の進捗（投資計画と実績）

3. サステナビリティへの取り組み

4. 参考資料

2021年度 第2四半期（累計） 連結損益計算書

- 経常利益は46億円、前年同期比29億円の増益（約2.8倍へ）
自動車を中心とした需要の増加及び鋼材価格の上昇により鉄鋼・非鉄金属セグメントの売上総利益が増加
- 当期純利益は39億円、前年同期比34億円の増益（約7.9倍へ）

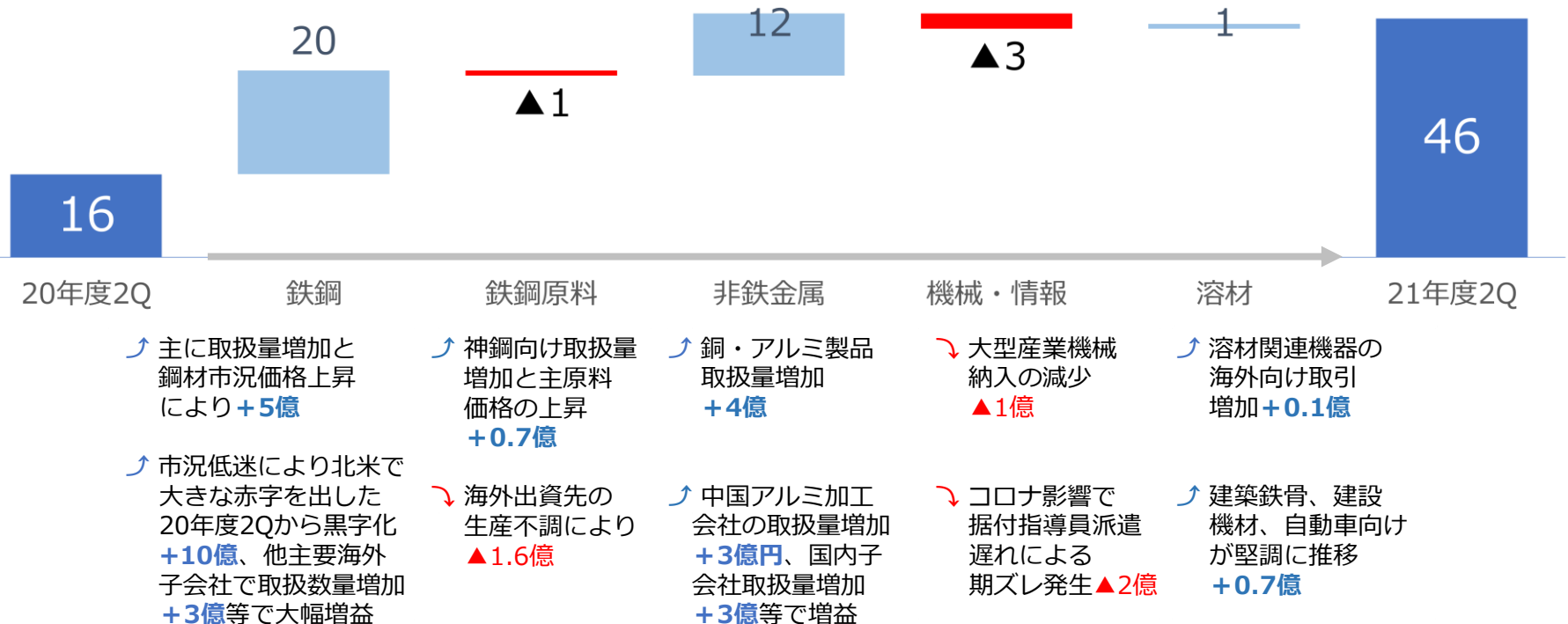
（単位：億円）

	2020年度 第2四半期	2021年度 第2四半期	増減額	増減率(%)
営 業 利 益	14	41	+27	195.9%
経 常 利 益	16	46	+29	181.9%
当 期 純 利 益	5	39	+34	689.5%
配 当 金 (円)	15	85	+70	-

2021年度 第2四半期（累計） セグメント別経常利益増減

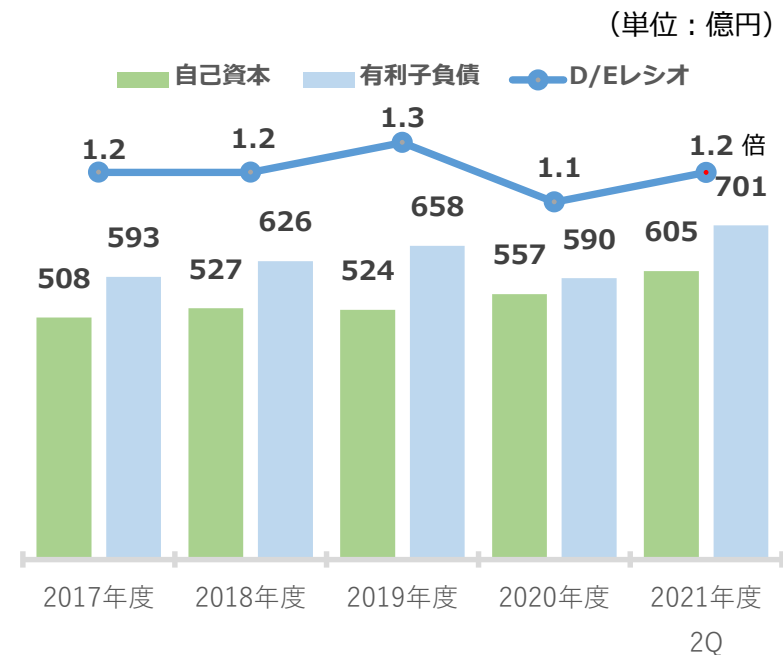
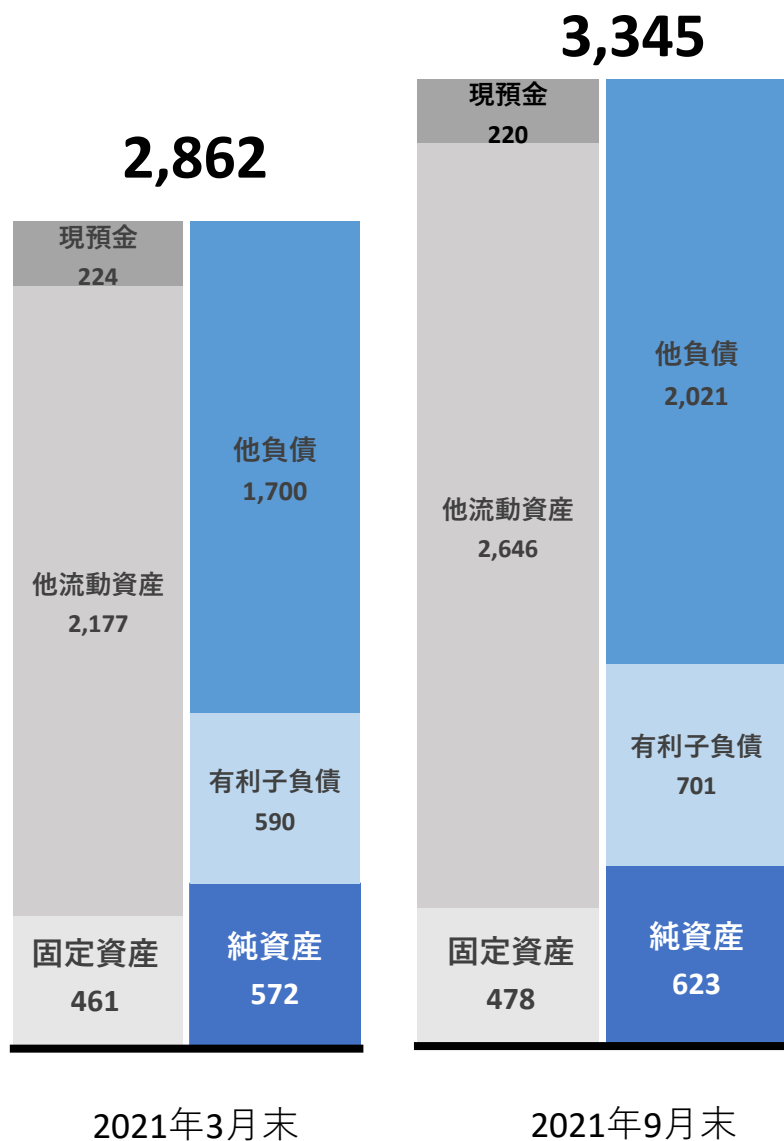
（単位：億円）

	2020年度 第2四半期	2021年度 第2四半期	増減額	増減率(%)
鉄 鋼	4	25	+20	474.9
鉄 鋼 原 料	1	0	▲1	▲92.9
非 鉄 金 属	5	17	+12	247.5
機 械 ・ 情 報	6	3	▲3	▲47.4
溶 材	0	1	+1	245.3
経 常 利 益	16	46	+29	181.9



バランスシートとキャッシュフローの状況

- D/Eレシオ：1.2倍（参考：ネットD/Eレシオ0.8倍）



	2020年度 第2四半期	2021年度 第2四半期	増減額
営業 C F	35	▲102	▲137
投資 C F	▲7	1	8
フリー C F	28	▲101	▲129
財務 C F 等	12	96	84
現預金等増減	40	▲4	▲44

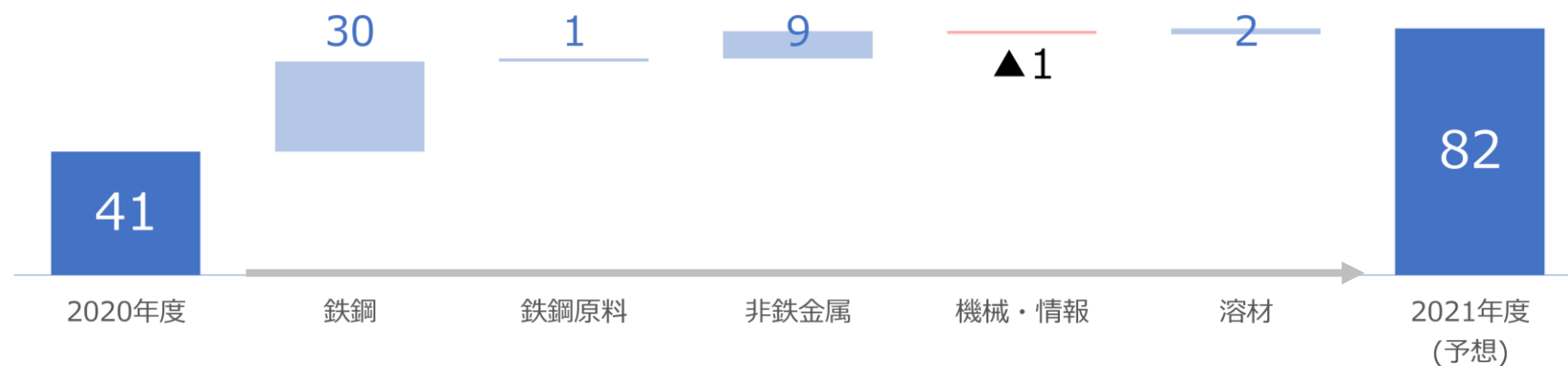
2021年度 業績予想・セグメント別増減要因

- 2021年度通期の経常利益は前期比約2倍の82億円を予想、今期二度目の上方修正
- 市況悪化の懸念があるものの、引き続き下期も鉄鋼・非鉄金属セグメントが牽引
- 配当見通しは170円（中間85円、期末予想85円）

（単位：億円）

	2020年度	2021年度	増減額
営業利益	45	86	+41
経常利益	41	82	+41
当期純利益	22	64	+42
配当金(円)	50	170	+120

	2020年度	2021年度	増減額
鉄 鋼	6	36	+30
鉄 鋼 原 料	3	4	+1
非 鉄 金 属	19	28	+9
機 械 ・ 情 報	12	11	▲1
溶 材	1	3	+2
経 常 利 益	41	82	+41

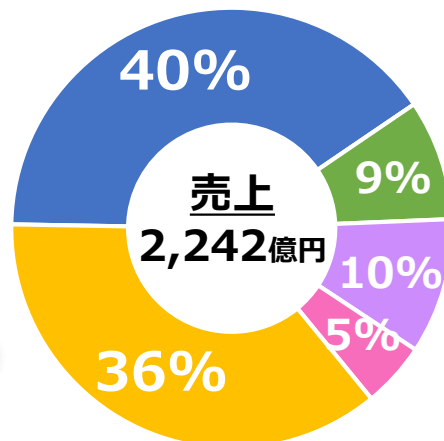


セグメント別事業概要

- 当社は、5つのセグメントで事業を展開
- 鉄鋼・非鉄金属で売上の約76%、経常利益の約90%を占める（2021年度第2四半期）

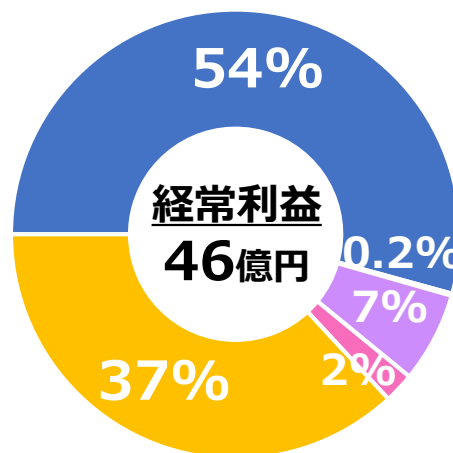
鉄鋼

自動車向けを中心に鉄鋼製品を国内・北米・中国・東南アジアに供給
北米加工拠点の強化等、設備投資・事業投資を展開



非鉄金属

自動車・半導体・空調等へのアルミ・銅素材及び加工品の供給
スクラップ・雑電線等のリサイクルビジネス及び国内外加工拠点の強化・新設



鉄鋼原料

鉄鉱石等、製鉄所向け原料を安定供給
バイオマス燃料、鉄スクラップ等の資源循環型ビジネスにも注力



機械・情報

産業機械や建機部品、電子情報関連製品まで幅広い製品を取扱う
メンテナンスや部品などのアフターサービスにも注力



溶材

高品質・高シェアの溶接材料に溶接ロボット等を加えたトータルソリューションを提供



1. 業績概要
2. 中期経営計画の進捗（投資計画と実績）
3. サステナビリティへの取り組み
4. 参考資料

全体戦略

- ・ 関係会社の機能最適化と戦略的活用
- ・ 事業ポートフォリオの見直し

収益力の強化

- ・ 神戸製鋼グループ中核商社としてグループビジネスの深化を追求する
- ・ SDGsを意識した、環境リサイクルビジネスの拡大
- ・ 海外拠点主導のビジネス開拓
- ・ 新事業開発の強化
- ・ DX時代に適したビジネスモデルの創出・提案

投資の促進

- ・ 北米、アジアでのサプライチェーンの深化と創造（M&A推進）
- ・ 事業投融資の加速
- ・ 製造拠点の設備投資

商社機能の強化

経営基盤の強化

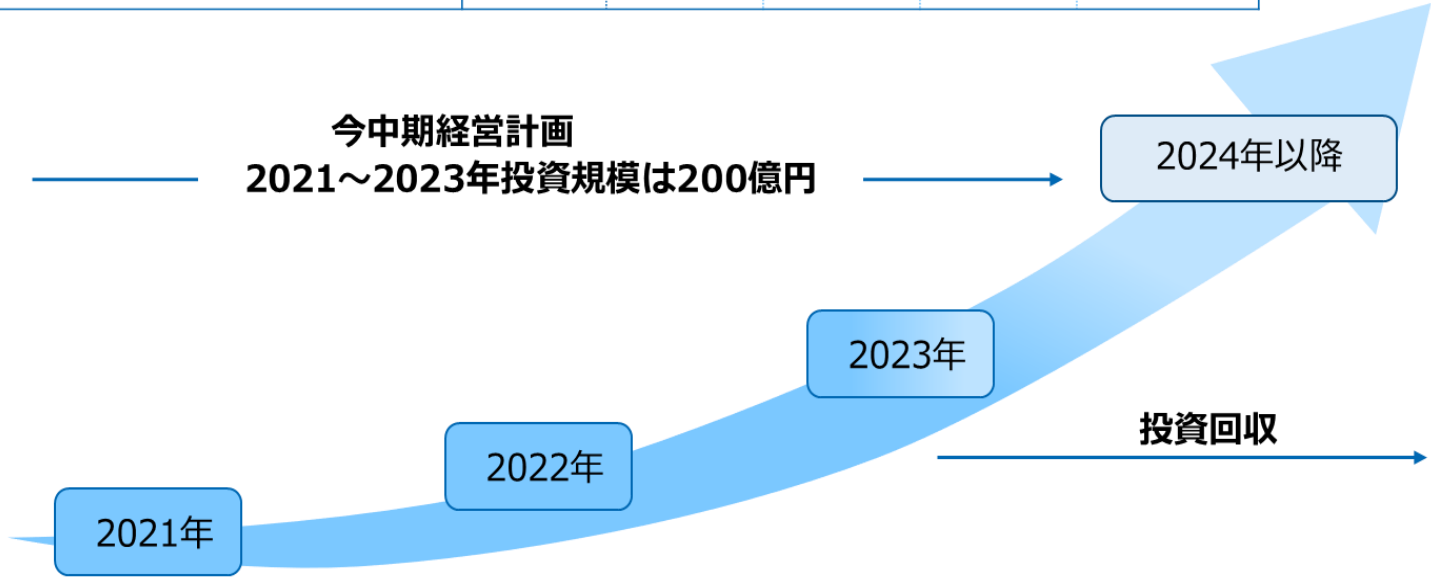
- ・ 人事制度改革
- ・ コーポレート機能の改革
- ・ 財務体質の強化
- ・ DX推進

投資計画

中期計画の主なM&A、投資計画

■ 投資時期 ■ 回収時期

案件名	投資金額	回収開始年度			
		2021年	2022年	2023年	2024年以降
自動車向け鋼材加工事業（中国・北米）	20億円				
環境リサイクル事業（日本・東南アジア）	30億円				
アルミ加工事業（北米、中国、東南アジア）	80億円				
M&Aによる流通再編（日本、東南アジア）	20億円				
その他 海外チャンネル拡大・サプライチェーン強化	50億円				
合計	200億円				



投資実施例

セグメント	増益計画の主要要素	投資実施例 (2021第2四半期 決議決定含む)	
鉄鋼	海外拡販、海外現地需要の取り込み (中国、米国他)	北米の事業会社二社で、処理能力増強を目的として設備投資を決定 P-15	 GBP外観
非鉄金属	半導体・自動車向け部材、エアコン用銅管の取扱増	- 新エネルギー車向けのアルミ需要の取込を目的として設備投資を決定 P-16 - 中国において半導体・FPD用イオン注入装置の製造企業を子会社化 P-17 - ベトナムでアルミ厚板の切断加工会社を設立予定	 蘇州神商金属有限公司 外観
機械・情報	建設機械部品の海外取扱拡大	インドで建設機械向け部品製造の合併会社を設立予定	 Track Design India 完成予想図
溶材	M&Aによる流通再編、販売機能強化	日本において他社溶接関連資機材販売事業を当社子会社が事業譲受	 SCW社屋

投資特集 子会社紹介



神商精密器材（揚州）有限公司
主に半導体・FPD用イオン注入装置の
組立、及び据付を行う事業会社 P-17



GRAND BLANC PROCESSING L.L.C (GBP)
主にCH材と呼ばれる自動車ファスナー
部品に使用される線材の二次加工（酸洗、
焼鈍、伸線）を手掛ける事業会社 P-15



蘇州神商金属有限公司
主にEVなどに使われるアルミ部材を
切断・加工する事業会社 P-16



AIKEN WIRE PROCESSING, L.L.C. (AWP)
主にベアリングなどに使われる軸受鋼の
伸線を手掛ける事業会社 P-15

北米での自動車向け線材加工能力増強

- 北米での自動車向け線材加工能力の強化
- 日系・非日系部品メーカーの需要を取り込み、シェア拡大を目指す

- ・ 北米におけるCH市場※¹の規模は大きい
- ・ 線材二次加工メーカーの淘汰を見据えての差別化投資
GBPではSTC炉※²と伸線機※³
AWPでは伸線機を増強
- ・ 地理的優位性の活用と品質力、納期対応力の強化

※¹ CH（Cold Heading）冷間圧造用線材で主に自動車ファスナー部品に使用

※² Short Time Cycle 焼鈍炉で、多品種に対応可能な焼鈍炉

※³ 線径変更の為、線材を引抜く伸線加工機械

月間出荷数量(トン)



ミシガン州デトロイト近郊に位置するGBPの外観



既存のSTC炉2機（GBP） 今後もう1機導入予定



中国での新エネルギー車(NEV)向けアルミ加工能力増強

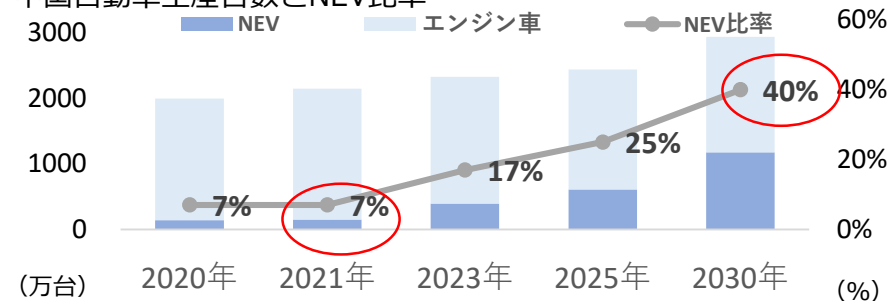
- 中国での新エネルギー車（NEV）向けアルミ材加工能力の強化
- 自動車軽量化を目的としたアルミ需要に対応し、シェア拡大を目指す

- ・ 中国における急激なNEV市場※¹の拡大
- ・ 新工場用地の確保、広幅板材加工が可能なレベラーシャー※²の導入
- ・ 生産能力と顧客ニーズ対応力の強化

※¹ NEV（New Energy Vehicle）はEV, PHEV, FCVを含む

※² ロール全体で鋼板を押え素材の反り・曲がりを少なくした せん断機

中国自動車生産台数とNEV比率



出典：中国自動車協会HP

中国国務院 新エネルギー自動車業界発展計画2021-2035

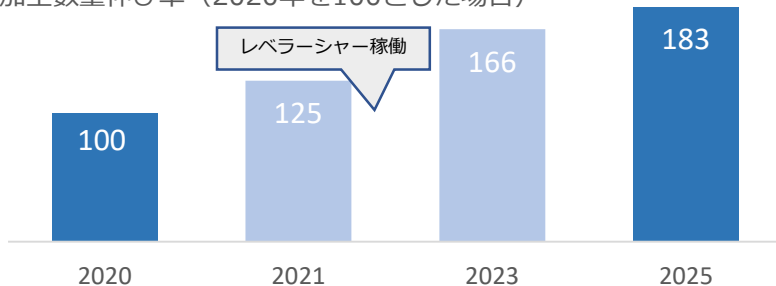
蘇州神商金属の外観



蘇州神商金属の既存工場内部



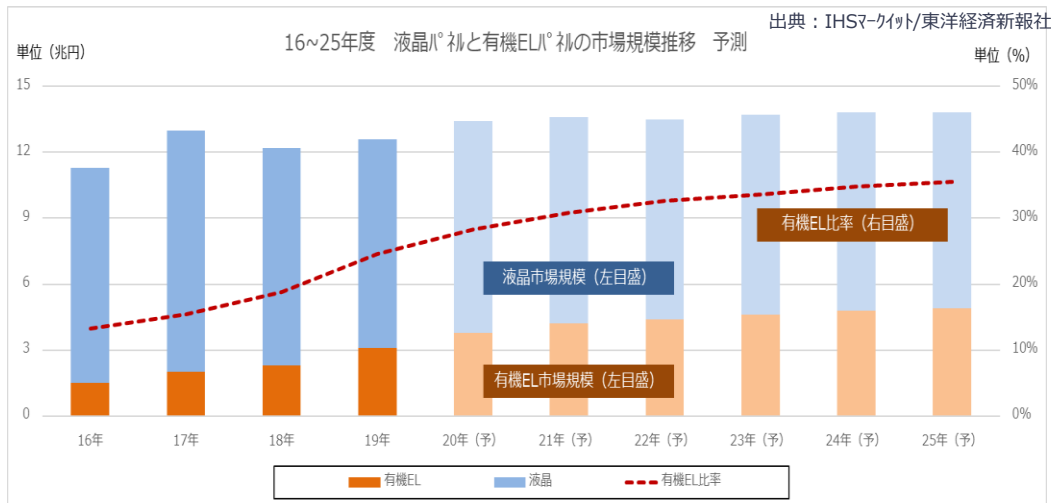
年間加工数量伸び率（2020年を100とした場合）



中国での半導体・FPD用イオン注入装置製造会社を子会社化

- 材料調達から据付まで一連のサービスの提供により付加価値を最大化
- 神商精密器材(蘇州)と連携し、グループシナジーの向上により収益を拡大

- ・ 液晶・有機ELパネルの需要は引き続き堅調
- ・ 加工・据付・SV派遣機能を有する企業の子会社化
- ・ 材料調達からSV派遣まで一連の業務体制構築による付加価値の最大化と新規顧客獲得を目指す



クリーンルーム出入口



クリーンルーム内部、OEM組立を行う



一連業務の流れ

材料調達 → 機械加工 → OEM組立 → 最終組立 → 据付 → SV派遣

神商精密器材(蘇州)

新子会社

神商精密器材(揚州)

中期重点施策との対応



蘇州神商金属の設備投資
NEV向けアルミ加工能力増強



GBP, AWPの設備投資
自動車向け線材加工能力増強



- 既存の取り組み
- 新規の取り組み

	日本	中国・東アジア	東南アジア	北米	欧州	インド・中東 アフリカ・その他
自動車分野 (各種輸送機を含む)	● 特殊鋼	● アルミ板材 ● 特殊鋼	● コネクタ（銅） ● 溶接材料	● 特殊鋼	● 非鉄加工	
プライマリー原料分野 (製鋼原料、地金)		● 神戸製鋼Gr 非鉄事業原料調達	● 合金鉄			
環境リサイクル分野	● アルミ屑		● バイオマス燃料 ● 雑電線屑	● 冷鉄源調達 ● バイオマス燃料		● 非鉄原料
建築分野	● 建設鋼材・ 建材製品		● 非鉄加工			
エレクトロニクス分野 (二次電池、半導体向け)	● 電池部材 ● ターゲット材	● アルミ精密加工	● アルミ厚板切断			
建設機材分野	● 溶接材料 ● 建機部品		● 機械メンテナンス			● 建機部品合併 ● 厚板溶断



当社子会社エスシーウエルによる
溶接関連資機材販売事業の事業譲受



神商精密器材（揚州）子会社化
半導体・FPD用イオン注入装置



ベトナム・アルミ切断加工会社設立予定
KTNメタルベトナム（仮称）
（写真はKTN）



Track Design India 設立
建設機械向け部品製造の合併会社

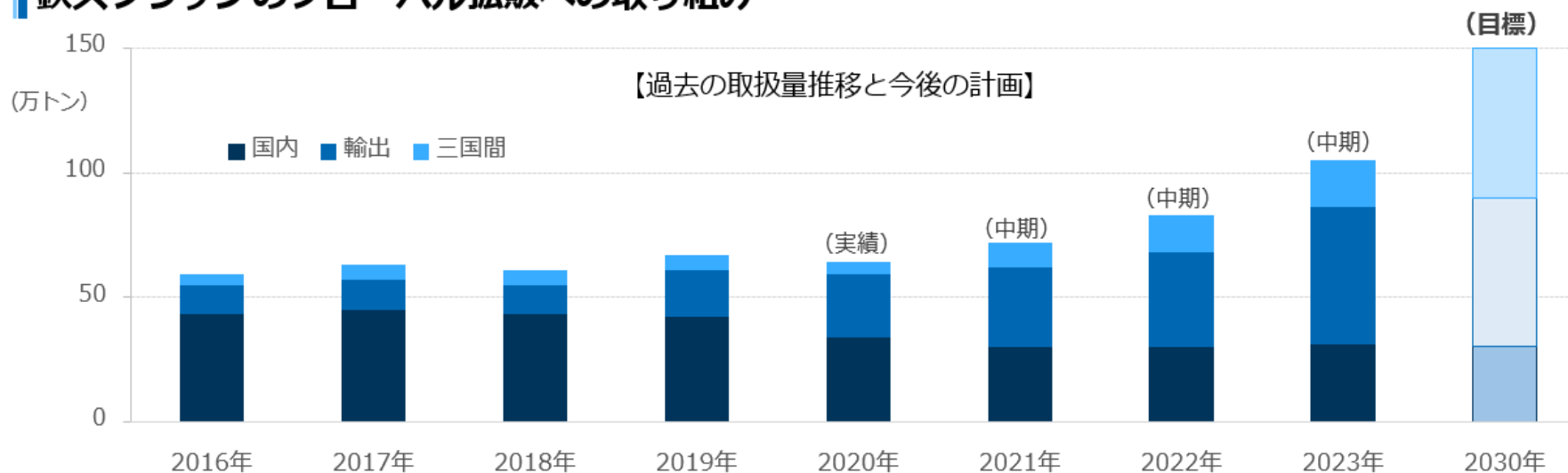
1. 業績概要
2. 中期経営計画の進捗（投資計画と実績）
3. サステナビリティへの取り組み
4. 参考資料

サステナビリティ戦略

SDGs項目	当社の取り組み
 	再生可能エネルギー設備向けの部材取扱増（鉄鋼） 鉄、非鉄金属リサイクル（鉄鋼原料・非鉄） 電線被覆プラスチックリサイクル（非鉄） 太陽光パネルのリユース・リサイクル（非鉄）
	自然災害に対する安全かつ強靱なインフラ構築（鉄鋼）
  	PKS（ヤシ殻）・木質ペレット・RPFなど再生可能燃料の供給（鉄鋼原料）
 	水力発電利用による合金鉄取扱（鉄鋼原料）
	EV向けリチウムイオンバッテリーの部材取扱（非鉄・機械情報・溶材）
  	働き方改革、新人事制度、従業員の健康促進
	CSR活動の一環として、新興国への物資支援

リサイクル事業

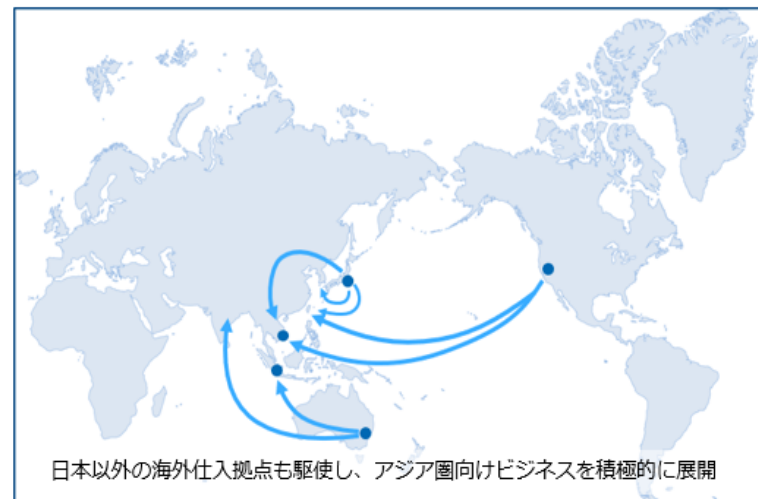
鉄スクラップのグローバル拡販への取り組み



目標達成に向けた3つの施策

- 1 グローバル管理体制強化
- 2 国内・海外仕入強化
- 3 営業要員育成

グローバル展開の将来構想



バイオマス事業

バイオマス燃料の安定供給、供給事業化への取り組み

中期計画での取り組み

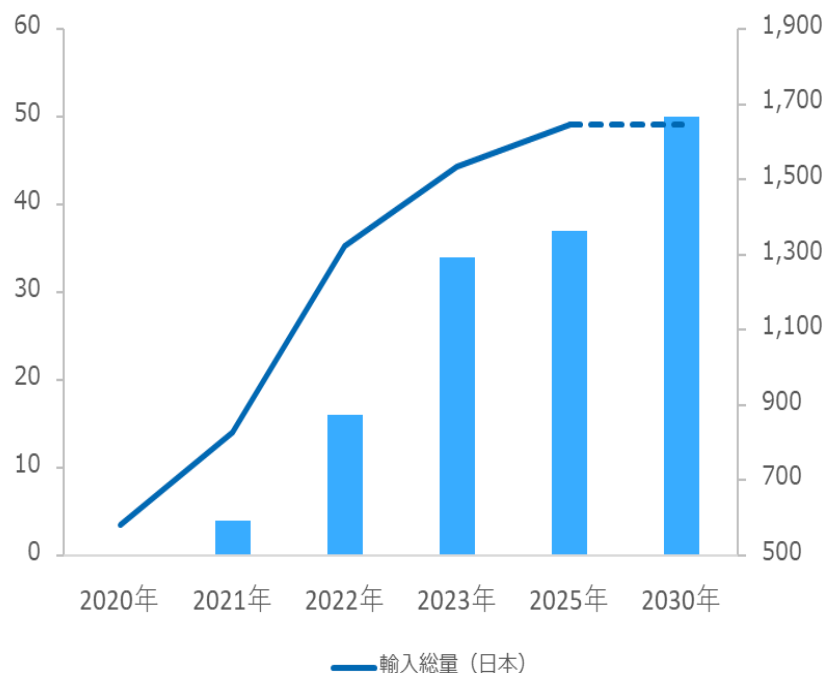
- ◆ 現地PKS集荷ヤード設立と仕入網拡充により、供給体制を構築しバイオマス燃料の取扱いで50万トンを目指す
- ◆ 積極的な事業展開でPKSその他代替燃料の取扱い拡大を図る（EFBペレット、木質ペレットの製造、植林他）

段階的取組

第1段階
(21年～23年) 実績作りと体制構築

第2段階
(23年～) バイオマス燃料供給事業化検討

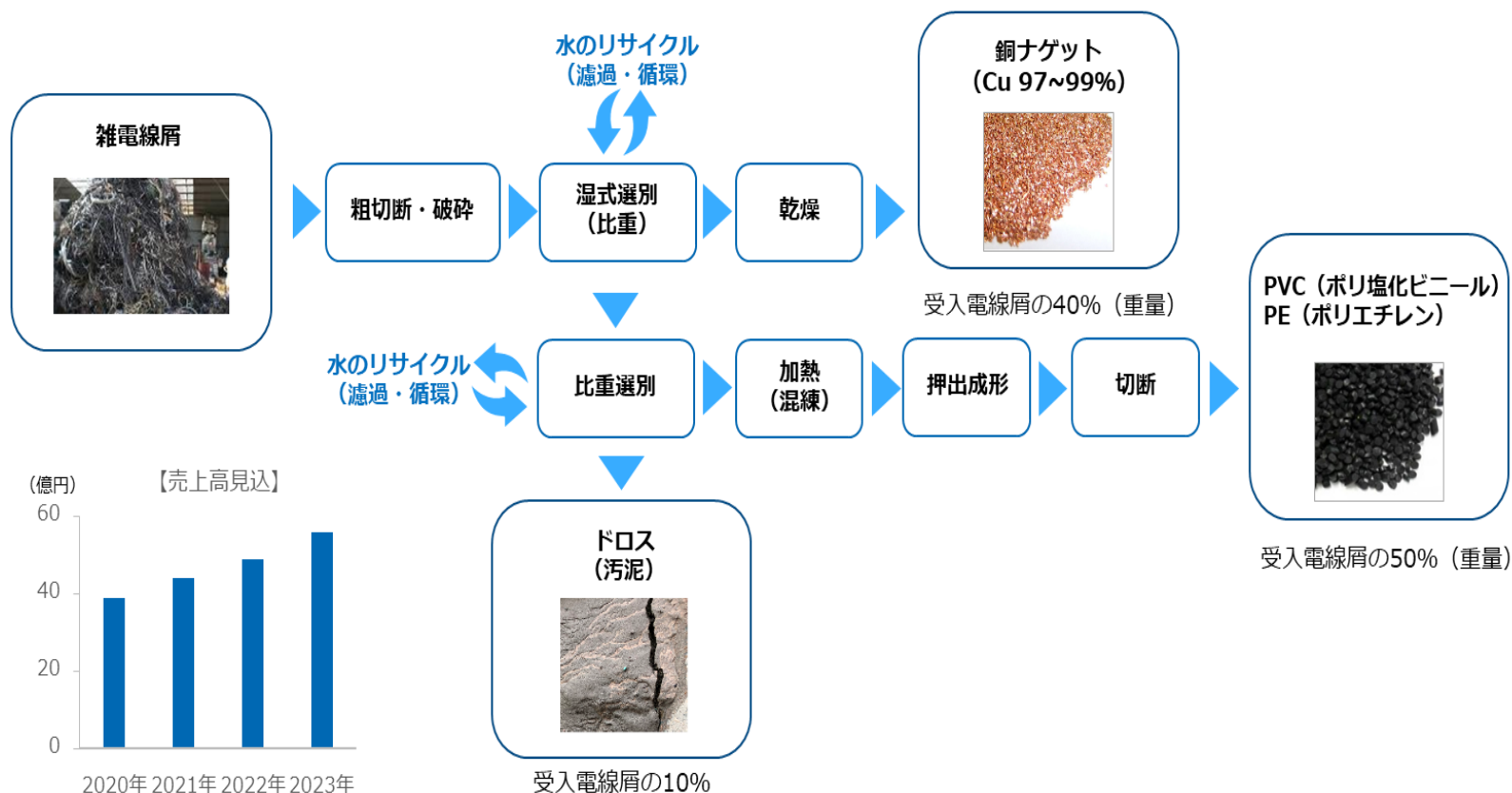
(万トン) 【日本のバイオマス燃料輸入総量及び当社輸入燃料取扱量推移】



雑電線屑の再資源化

環境への負荷影響を最大限抑えることを前提とした加工体制を構築

ビル解体時に発生する配線（雑電線屑）は、国内で年間100千トン。
現在雑電線に於ける40%は銅ナゲットとして再資源化されているが、残60%は産廃として処理されているのが実情。
一方、当社はマレーシアで現地企業と下記スキームで90%まで再資源化。
将来的には、日本国内に於いてケミカルリサイクルを含めた完全リサイクル実現を目指す。

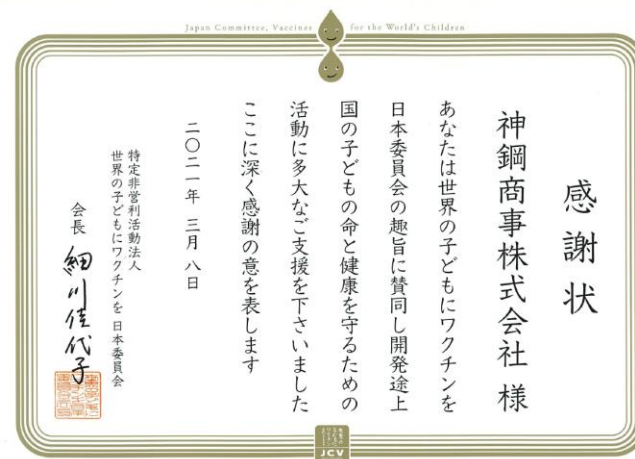


CSR活動 (古着deワクチン)

- 日本リユースシステム(株)と協力し、開発途上国への物資支援とポリオワクチンの寄付を行っている

◆活動実績 (2021年11月30日現在)

- ポリオワクチンの寄付 : **1100 個**
- 専用回収キットの発注 : **220 個**
- 発送済みキット数 : **128 個**



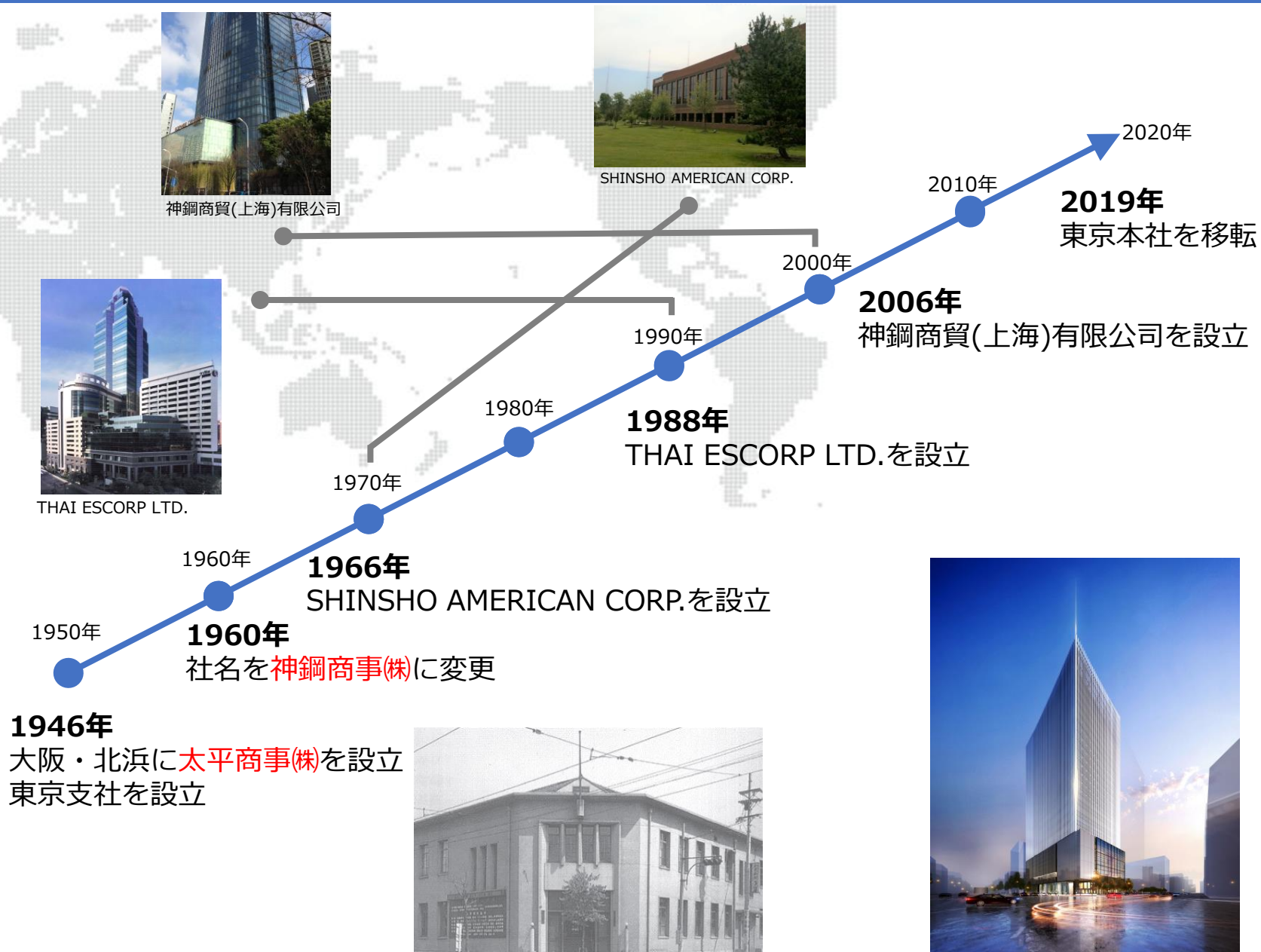
1. 業績概要
2. 中期経営計画の進捗（投資計画と実績）
3. サステナビリティへの取り組み
4. 参考資料

神鋼商事株式会社

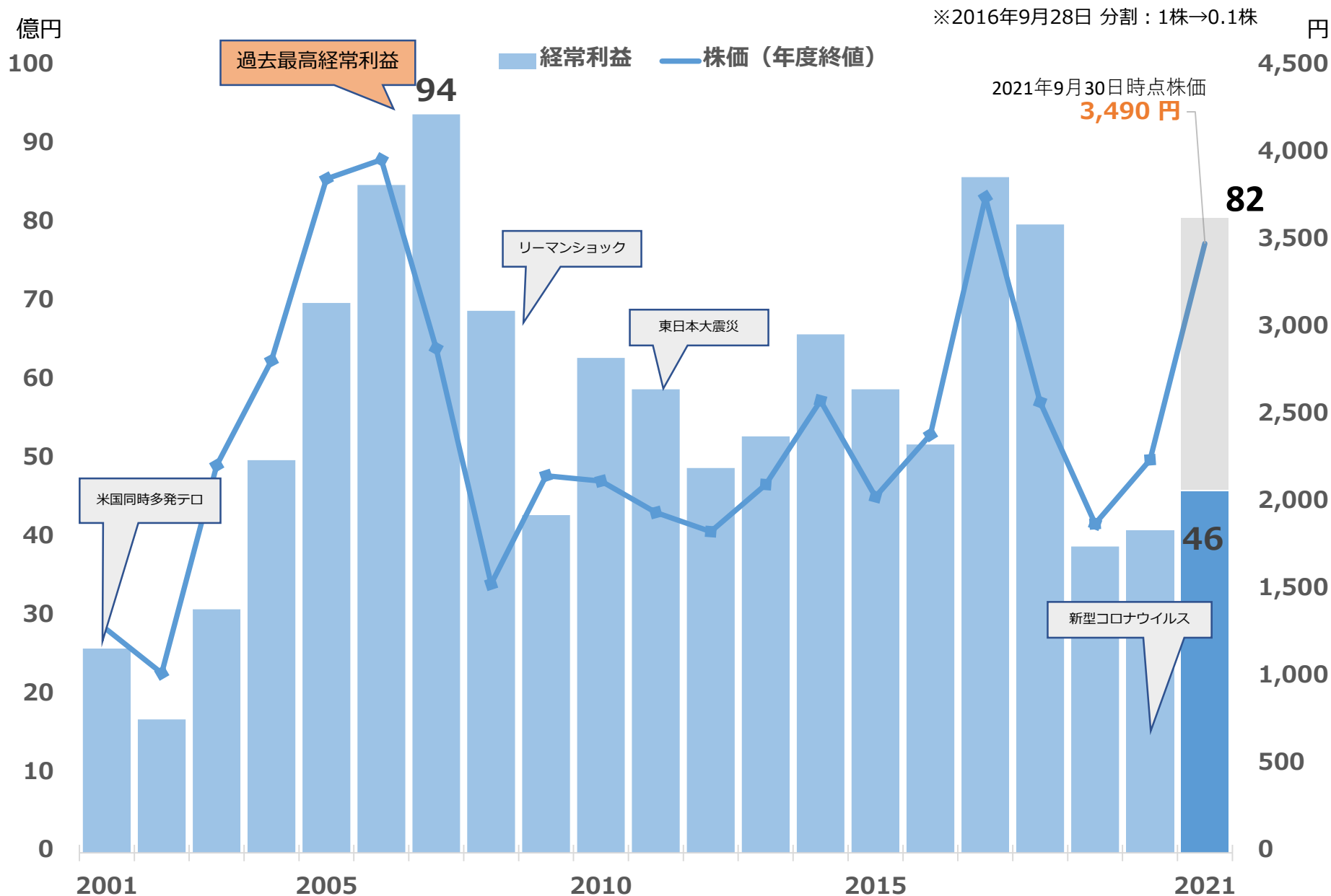
(2021年9月30日時点)

業 態	商 社
証 券 コ ー ド	東京証券取引所第一部(8075)
住 所	【大阪本社】 大阪府大阪市中央区北浜二丁目6番18号(淀屋橋スクエア) 【東京本社】 東京都中央区京橋一丁目7番2号(ミュージアムタワー京橋)
創 業	1946年11月12日
連 結 子 会 社 数	39社
従 業 員 数	1,518名(連結) 575名(単体)※出向者を含む
単 元 株 式 数	100株

会社沿革



経常利益と株価の推移

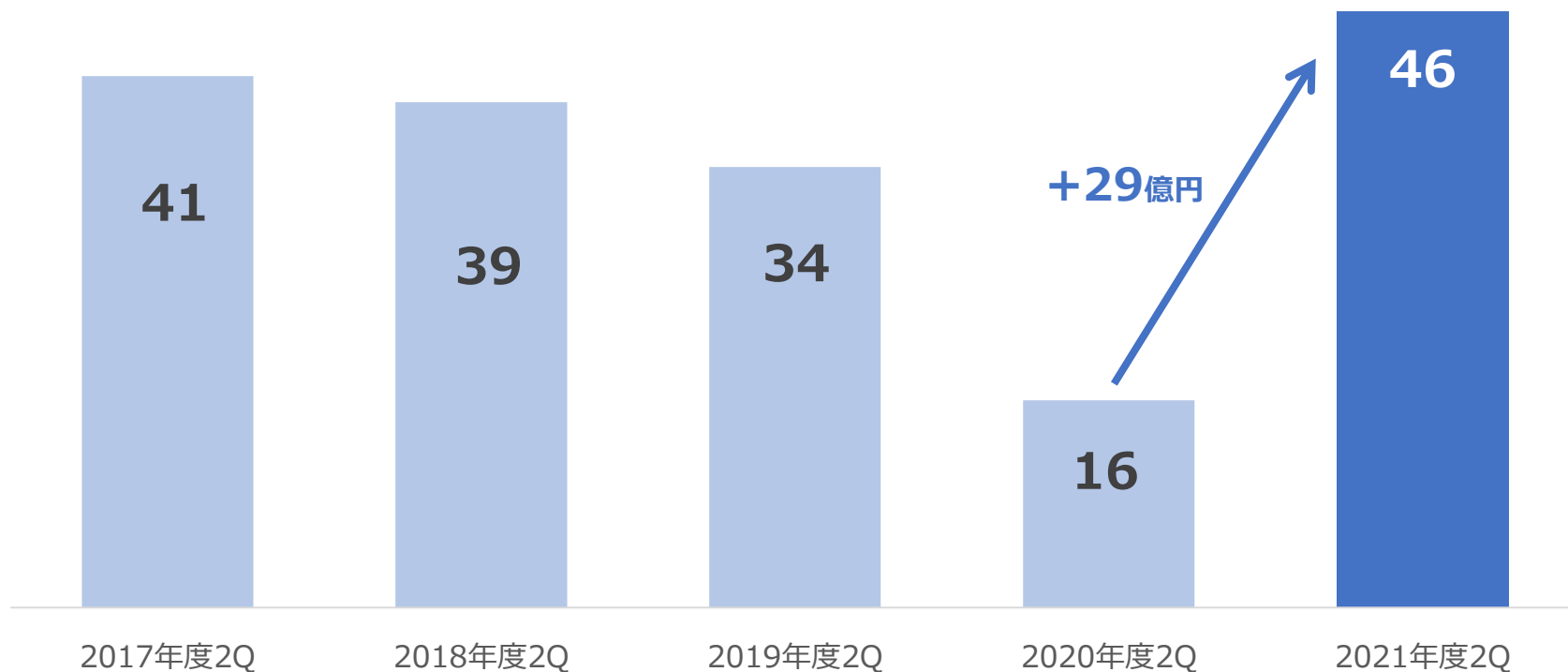


経常利益（累計）の推移（第2四半期ベース）

- 2021年度第2四半期の経常利益（46億円）は、前年同期だけでなくコロナ影響前の2019年度 同（34億円）を上回る
- 第2四半期ベースとしては、過去5年間で最も高く、過去最高だった2008年度 同（49億円）に迫る水準

◆経常利益（第2四半期）の推移

（単位：億円）

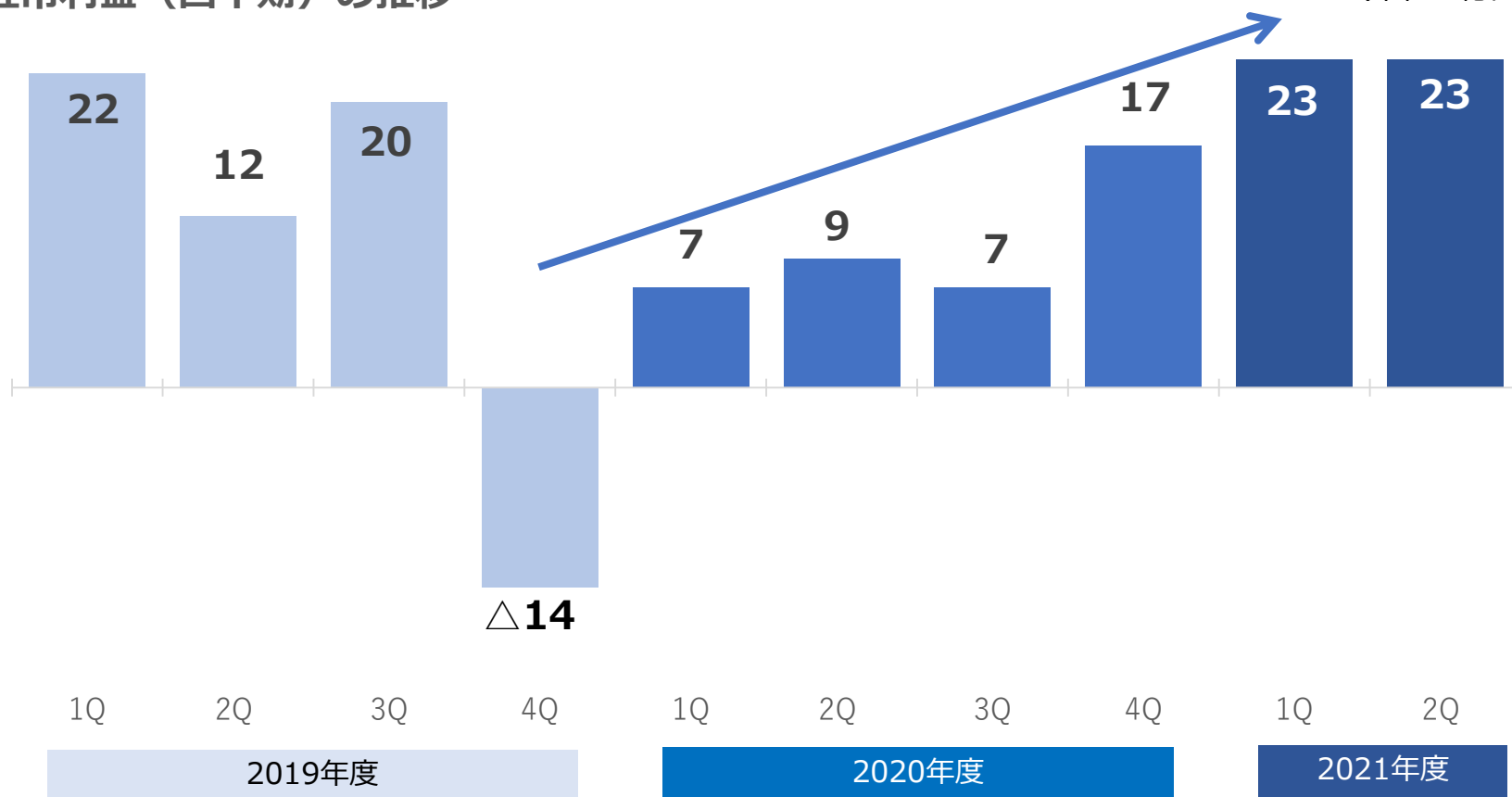


経常利益の推移（四半期ベース）

- 2021年度2Qの経常利益は23億円、前年同期比14億円の増加（約2.5倍へ）
- コロナの影響や鉄鋼セグメントでの減損により赤字に陥った2019年度4Q以降概ね右肩上がり増加

◆経常利益（四半期）の推移

（単位：億円）

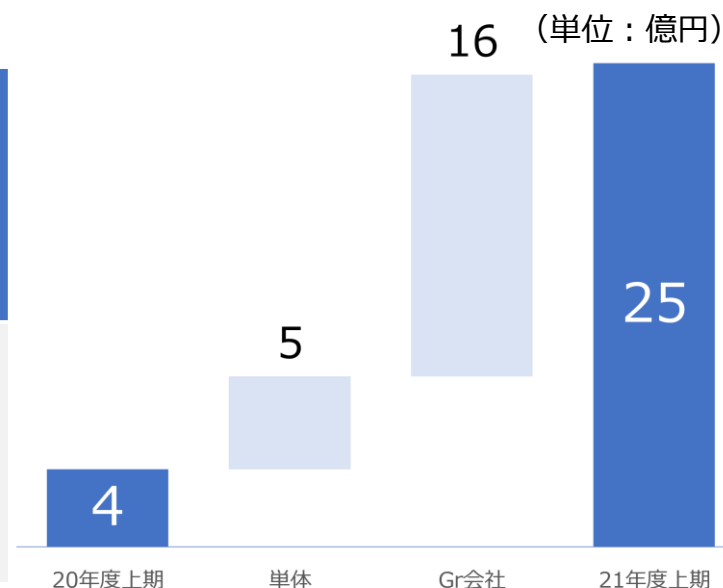


2021年度 第2四半期 セグメント別経常利益増減

鉄 鋼

年度	2019年度 第2四半期	2020年度 第2四半期	2021年度 第2四半期
経常利益	16	4	25
前年同期比	-	▲12	+20

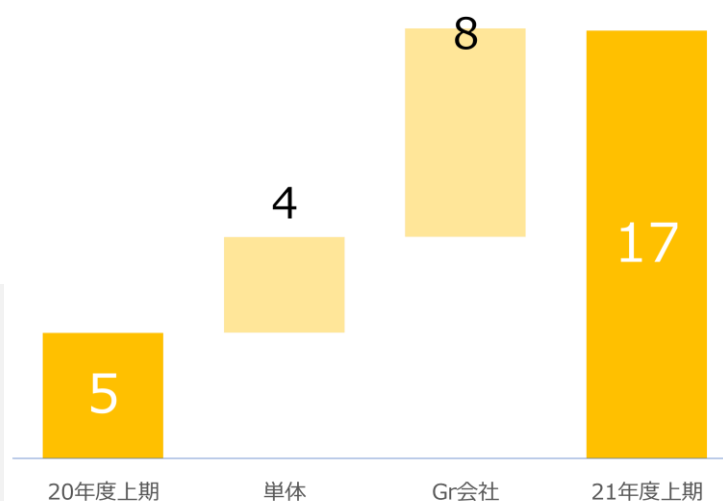
- 単体は、主に取扱量の増加と市況価格の上昇により、前年同期比+5億円
- Gr会社は、市況低迷により北米で大きな赤字を出した20年度2Qから黒字化+10億、他主要海外子会社で取扱数量増加+3億等で大幅増益



非鉄金属

年度	2019年度 第2四半期	2020年度 第2四半期	2021年度 第2四半期
経常利益	7	5	17
前年同期比	-	▲2	+12

- 単体は、銅製品およびアルミ製品の取扱量増加により前年同期比+4億円
- Gr会社は、主に中国子会社の自動車向けアルミ板材の取扱量増加により同+3億円、国内子会社+3億円等で増益

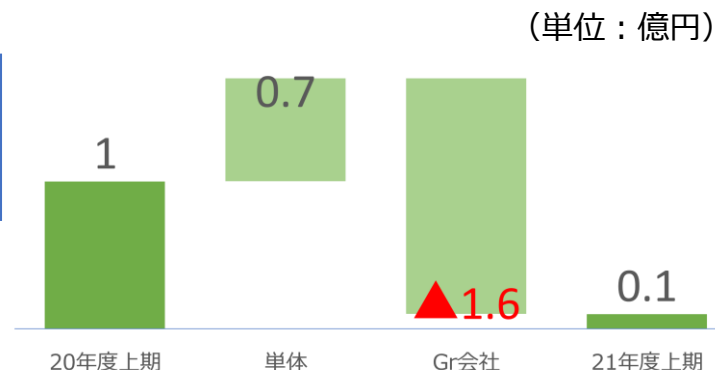


2021年度 第2四半期 セグメント別経常利益増減

鉄鋼原料

年度	2019年度 第2四半期	2020年度 第2四半期	2021年度 第2四半期
経常利益	5	1	0.1

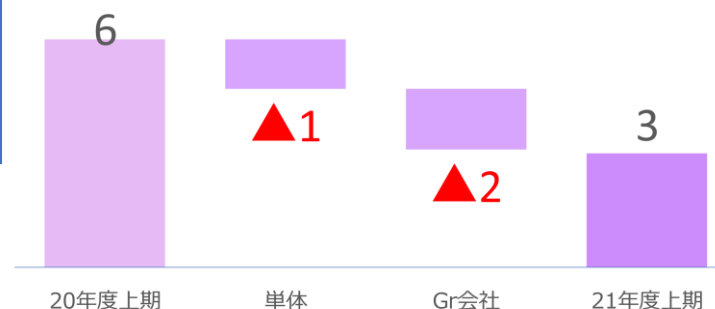
- 単体は、主に神鋼向け取扱量が増加し、主原料価格も上昇したことから、**+0.7億円**
- Gr会社は、海外出資先の生産不調により **▲1.6億円**



機械・情報

年度	2019年度 第2四半期	2020年度 第2四半期	2021年度 第2四半期
経常利益	5	6	3

- 単体は、主に大型産業機械納入の減少により、**▲1億円**
- Gr会社は、コロナ影響を受け据付指導員の派遣遅れによる期ズレの発生により **▲2億円**



溶材

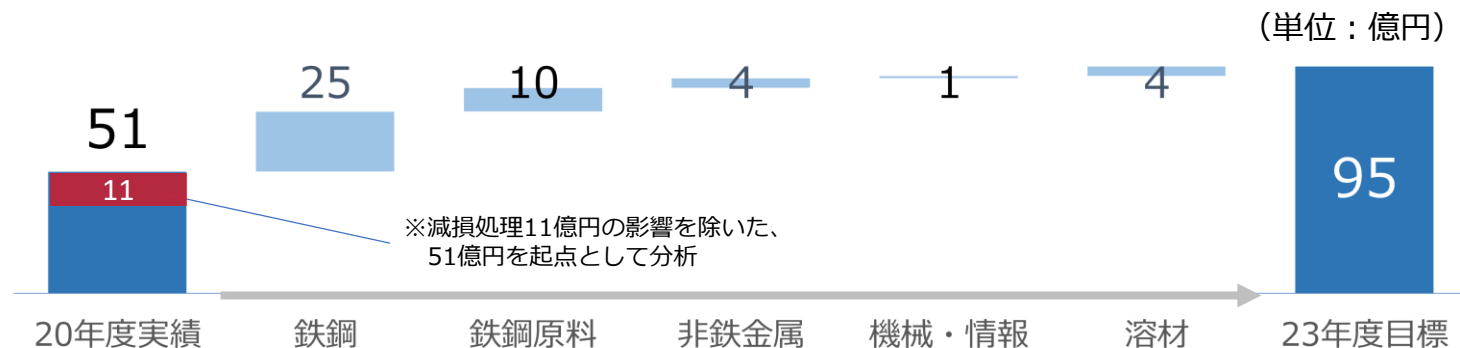
年度	2019年度 第2四半期	2020年度 第2四半期	2021年度 第2四半期
経常利益	1	0.3	1.1

- 単体は、溶接関連機器の海外向け取引増加により **+0.1億円**
- Gr会社は、建築鉄骨、建設機材、自動車向けが堅調に推移した結果、**+0.7億円**



中期経営計画（目標数値）

経常利益



定量目標

連結純利益		3カ年累計	150億円
営業キャッシュ・フロー		3カ年累計	110億円
新規投資	M&A/設備投資	3カ年累計	110億円
	海外チャンネル拡大とサプライチェーン強化	3カ年累計	90億円
ROE		9%以上	
ROA		3%以上	
自己資本比率		20%以上	
D/Eレシオ		1.0倍程度	

増益計画の 主な要素

セグメント	増益計画の主な要素
鉄鋼	海外拡販、海外現地需要の取り込み（中国、米国他）
鉄鋼原料	鉄スクラップとバイオマス燃料の取扱拡大
非鉄金属	半導体・自動車向け部材、エアコン用銅管の取扱増
機械・情報	建設機械部品の海外取扱拡大
溶材	M&Aによる流通再編、販売機能強化

企業理念

**私たちは誠実をモットーに、新しい価値の創造を通じて、
豊かな社会づくりと、みんなの幸せをめざします。**

※本資料に記載されております業績予想並びに将来見通しは、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、現時点で予測可能な情報に基づき当社が判断したものであり、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、様々な要因により記述されている将来予想とは大きく異なる可能性があり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみで投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。
本資料の利用で生じた損害を、当社では責任を負いかねますことご承知おき願います。